

学校名	益田市立東陽中学校
授業者	2年部職員

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

ふるさと探訪学習（種地区）

1-2. 学年

第2学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

校区内の種地区に出かけ、地域の伝統文化である石見神楽の保存会のみなさんと交流し、神楽の歴史などについて指導をしていただいた。また、地域の農産加工場のようすも見学させてもらい、移動の際には河川周辺の清掃活動を行った。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校では2つの小学校から生徒が入学する。校区内には4つの地区があり、地区によっては、小中学生が少ないところもあり、生徒にとってもあまりなじみのない地域もある。そこで、ふるさとの良さを発見し大切にしていこうとする心を培うとともに、東陽中学校区が面している海の豊かさや、美しさが、上流の河川や森林の環境を保つことによって維持されていることにも気づかせていきたいと考え、本単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

○地域の方との交流や地域での活動を通して、ふるさとへの愛着とふるさとの自然や文化を守り、ふるさとに貢献しようとする意識や態度を培う。

1-7. 単元の展開（全8時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ・ 2	○事前指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・グループ分け ・係分担 	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元のねらいについて説明する。 ・一人一役で責任を持って係活動をすることができるようにする。
3 ～ 7	○当日 <ul style="list-style-type: none"> ・種神楽保存会の方の講話 ・農産加工場見学 ・河川清掃 ・レクリエーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に地域の方と交流するように促す。 ・必要に応じて、メモやタブレットによる記録をとる。 ・安全に気をつけて清掃活動を行う。
8	○事後指導 <ul style="list-style-type: none"> ・お礼状作成 ・グループごとにまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や文化を保存し後世に伝えようとしている方々の思いを受け止め、地域で生活する一員としての思いが伝わるようレポートを作成する。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・活動を通して、友だちの良さを見つけたり、お互いに助け合ったりするなど、仲間づくりを進める。
- ・共同作業を通して、集団生活のあり方や公衆道徳等についての望ましい体験をする。事前の準備・実施・片付けまで、自主的に取り組む力をつける。
- ・地域の方とふれあい、関わりを深める。
- ・ふるさとの自然や産業などに触れ、ふるさとへの愛着を育てる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
○東陽中集合・出発式 東陽中発 自転車、タクシー、徒歩 種公民館着・開会式 ◎種神楽保存会の練習場見学・農産加工場見学	・移動中の交通安全に配慮する ・積極的に地域の方と関わることを促す。
◎神楽の歴史・衣装について・立ち回り指導 昼食・休憩	・必要に応じて、メモやタブレットでの記録をとる。 ・安全に注意してゴミ拾いを行う。
◎土手のゴミ拾い	
○レクリエーション 閉会式・現地解散	

3. 今回の活動の自己評価

地域の文化として根付いている石見神楽であるが、実際に演目を見たり、衣装に触れたり、立ち居振る舞いを学ぶ機会は少なくなっている。保存会の方から説明を受けたり、衣装を着させてもらったりと交流をしながら、地域の文化に触れる貴重な機会となった。

移動時の沖田川周辺の清掃活動は、普段から整備されていることもあってかなりゴミも少ない状態であった。地域の環境を守る人々の活動される姿に思いをはせることができた。

4. 今後の課題

年度当初に行う本単元の学習は、「ふるさと（ひと・もの・こと）を知る」「仲間づくり」をねらいとしている。本来は、この後年間を通じて該当の地域との交流活動ができるような取り組みにつなげることが望ましいが、コロナ禍の影響もあり、そこにつなげることが難しい状況にあった。今後は年間を通じた交流活動になるとともに、次の学年とのつながりをも含めた取り組みにしていきたい。また、「山・川・海の連環」についても考えを深められるようなプログラム作りの工夫をしたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。